

おばま市議会だより

No. 140



議会報告会を開催しました… P 2～3
 6月定例会の報告…………… P 4～6
 市政を問う！一般質問…………… P 7～11
 若狭東高校のガンバリ！…………… P 12

■発行 小浜市議会
 ■編集 広報委員会
 ■発行日 平成26年7月25日

〒917-8585
 福井県小浜市大手町6番3号
 TEL 0770・53・1111(代表)
 0770・64・6035(直通)
 FAX 0770・52・0400
 メール gjikai@city.obama.lg.jp

若狭東高校弓道部女子、春季総体で優勝！！

～男子個人は前西君優勝～



平成26年度の春季高校総体は6月7・8日の両日、県内各地で行われ、若狭東高校弓道部が女子団体で8年ぶりに優勝を果たし、見事北信越大会への出場を決めました。男子も個人戦で前西貴之君が見事優勝し、北信越大会への出場を決めました。弓道部女子は実力は十分ながら、これまでメンタル面に弱さがあり、ここぞという時に思うように力を発揮できませんでした。しかし上山監督の精神面に重きをおいた指導が実を結び、決勝リーグでは仁愛女子・鯖江・北陸の三強豪校を立て続けに破り、見事5回目の優勝を決めました。

若狭東高校のガンバリ！



岩崎舞 (女子主将)
 ～インターハイでは優勝めざして頑張ります。
松井翔 (男子主将)
 ～信頼している仲間との試合は最高の思い出です。



おばま市議会だよりも第1号が1972年7月24日に創刊され、今号(No140)で42年を迎えました。
 歴代の広報委員は、市民の皆様には、市議会の報告を、できる限りわかりやすくお伝えするよう努力してまいりました。
 5月放映の地方の特色を県単位で紹介する某人気番組で北陸新幹線が話題に、「敦賀から米原に繋がると便利になる」とのコメントが放映され、地元としては「エッ、違うでしょ」となり、その真意を確認すると、「とにかく北海道新幹線に繋がらなければ」との思いで他意はないとのこと。地元の熱い思いを伝え、理解と協力を求めると、「今後は若狭ルートを応援するよ」と快諾されたそうです。県ゆかりの著名人にも広く周知しなければと痛感した出来事でした。
 今後、分かりやすい記事で市民の皆様にご覧いただき、市議会広報を、委員一同目指してまいります。

(広報委員 下中)

編集後記

6月定例会で可決した意見書

・手話言語法制定を求める意見書

手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、聞こえない子ども・大人ともに手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした手話言語法（仮称）を制定すること

・日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書

日本政府が核兵器の全面禁止を望む国々と協力し、核兵器全面禁止条約の実現のため努力すること

・北陸新幹線若狭ルート整備促進を求める意見書

敦賀以西については、昭和48年に閣議決定された整備計画どおり「小浜市附近」を経過地とする若狭ルート（駅・ルート）を一日も早く明確化するとともに、新幹線敦賀～大阪間の全線フル規格による早期整備を促進し、その開業年度を明らかにすること

委員等の変更

◆北陸新幹線若狭ルート早期実現特別委員会

委員長

垣本 正直→能登 恵子

副委員長

能登 恵子→池田 英之

議会報告会を開催しました



5月9日に西津、遠敷、今富地区の各公民館で議会報告会を開催しました。「3月定例会」「公共交通問題」「社会保障政策」の3つのテーマを中心に報告した後、意見交換会を行いました。3会場で合計106名の市民の皆様にお越しいただき、貴重なご意見を数多くいただきました。

今富公民館

議会報告会は必要なの？

今回の各会場の参加者数は、

西津公民館・・・28人

遠敷公民館・・・36人

今富公民館・・・42人

でした。

平成25年4月1日に施行した小浜市議会基本条例により、年1回以上議会報告会を開催し、議会の説明責任を果たすとともに、市民の皆様からのご意見を議会活動に反映させることになっていきます。



西津公民館

いただいたご意見は議会報告会連絡会（議長、副議長、各常任委員長、広報委員長、各報告会場の班長）において整理を行い、政策討論会などの議論や議会の政策立案、政策提言に生かします。

どのような意見があったの？

●新幹線若狭ルートの取り組みは理解するが、琵琶湖若狭湾快速鉄道の取り組みはどうなったのか。

●戸別受信機がすべての家庭で視聴できる状態になっているか、チェックを徹底してもらいたい。

●原子力災害で3万人が一括して避難できるのか。実行性のある計画を作ってもらいたい。

●ふれあいサロンは介護予防にも寄与するので、来年から補助金を増やしてほしい。



遠敷公民館

●旧旭座の件について、文化活動が活発化することはいずれも、施設に空きができるような無駄な運営はやめてほしい。

●あいあいバスの利便性を高めてほしい。

●人口減少に歯止めをかける取り組みについて議論しているのか。

●市内5箇所地域ブランドの酒造りが行われている。地酒を育てる取り組みができないか。

●地下水調査の進捗状況の報告がないがどうなっているか。

●初めて参加したが出席者からの意見も多方面から出され意見交換としてはまずまずと思う。

●市民の意見を聞くのに、時間は区切るものではないと思う。

●失礼ながら市政に対する熱意を感じられる対応ではなかったように思う。

●ひとりひとりの意見を持つていない。質問に答えられない。前向きな意見が欲しかった。たとえ報告会であれ、小浜市のために今後活動したいことなどの抱負を聞きたかった。

●市政報告、議会報告の違いがよく分かりませんでした。

●文章を読むような説明でなく、簡潔明瞭にしていただきたい。

●今までの議員は行政のチェックが主であったが、これからの議員活動は自分の考え、主張をしっかりもつほしい。

●報告会もいろいろ意見交換会のようによい小浜市はどうあるべきかを話し合う機会を設けてほしい。

アンケート（94名が回答）

【本日の議会報告会】

わかりやすかった 44・7%

わかりにくかった 12・8%

どちらともいえない 38・3%

無回答 4・2%

【議会だより】

毎回目を通している 50・0%

興味のある部分だけ見て 36・2%

ほとんど見たことがない 9・6%

発行されていることを知らなかった 1・1%

無回答 3・1%

【自由記載欄】（一部抜粋）

●当初予算の各事業に対

する内容の質問がありました。「当初予算の概要」の冊子を持参されるということになります。

●議会活動のテーマを絞った報告会もよいのではないのでしょうか。

●議員の取り組みを聞けてよかったです。

●各地区で温度差のある協働のまちづくりについてどのように考えていらっしゃるか。

●参集された地区民の活発な意見や、要望等次々に発言がありよかったです。

●率直な意見交換があり、議会と住民の距離が近づいたと感じてとても良かったです。

●防災について、県・国にさらに強く、対策の要望を上げてほしい。

●議会報告と位置付けながら、市役所（行政）の説明会になっているのではないかと。議会の問題となった事に対しての議会報告と聞いていたのだが、少し残念。

●少子化に対しても今後夢のある政治を・・・子ども達が地元で多く残って活動、生活できるように。

●初めて参加したが出席者からの意見も多方面から出され意見交換としてはまずまずと思う。

●市民の意見を聞くのに、時間は区切るものではないと思う。

●失礼ながら市政に対する熱意を感じられる対応ではなかったように思う。

●ひとりひとりの意見を持つていない。質問に答えられない。前向きな意見が欲しかった。たとえ報告会であれ、小浜市のために今後活動したいことなどの抱負を聞きたかった。

●市政報告、議会報告の違いがよく分かりませんでした。

●文章を読むような説明でなく、簡潔明瞭にしていただきたい。

●今までの議員は行政のチェックが主であったが、これからの議員活動は自分の考え、主張をしっかりとつほしい。

●報告会もいろいろ意見交換会のようによい小浜市はどうあるべきかを話し合う機会を設けてほしい。

防災対策	22・3%
まちづくり	18・6%
産業	11・2%
環境問題	10・2%
教育	9・8%
観光	9・3%
福祉	8・4%

●当初予算の各事業に対

する内容の質問がありました。「当初予算の概要」の冊子を持参されるということになります。

●議会活動のテーマを絞った報告会もよいのではないのでしょうか。

●議員の取り組みを聞けてよかったです。

●各地区で温度差のある協働のまちづくりについてどのように考えていらっしゃるか。

●参集された地区民の活発な意見や、要望等次々に発言がありよかったです。

●率直な意見交換があり、議会と住民の距離が近づいたと感じてとても良かったです。

●防災について、県・国にさらに強く、対策の要望を上げてほしい。

●議会報告と位置付けながら、市役所（行政）の説明会になっているのではないかと。議会の問題となった事に対しての議会報告と聞いていたのだが、少し残念。

●少子化に対しても今後夢のある政治を・・・子ども達が地元で多く残って活動、生活できるように。

●初めて参加したが出席者からの意見も多方面から出され意見交換としてはまずまずと思う。

●市民の意見を聞くのに、時間は区切るものではないと思う。

●失礼ながら市政に対する熱意を感じられる対応ではなかったように思う。

●ひとりひとりの意見を持つていない。質問に答えられない。前向きな意見が欲しかった。たとえ報告会であれ、小浜市のために今後活動したいことなどの抱負を聞きたかった。

●市政報告、議会報告の違いがよく分かりませんでした。

●文章を読むような説明でなく、簡潔明瞭にしていただきたい。

●今までの議員は行政のチェックが主であったが、これからの議員活動は自分の考え、主張をしっかりとつほしい。

●報告会もいろいろ意見交換会のようによい小浜市はどうあるべきかを話し合う機会を設けてほしい。

平成26年第2回定例会採決結果 第3回臨時会

全員賛成で可決、同意した議案等

項目	件名
予算	専決処分につき承認を求めることについて(平成25年度小浜市一般会計補正予算(第9号))
	平成26年度小浜市一般会計補正予算(第1号)
	平成26年度小浜市水道事業会計補正予算(第1号)
	平成26年度小浜市一般会計補正予算(第3号)
条例	行政財産の使用料に関する条例の一部改正について
	小浜市重度障がい者(児)医療費の助成に関する条例の一部改正について
	小浜市企業振興条例の一部改正について
	小浜市漁港管理条例の一部改正について
	小浜市溝渠占用料徴収条例の一部改正について
	専決処分につき承認を求めることについて(小浜市市税条例の一部改正について)
	専決処分につき承認を求めることについて(小浜市国民健康保険税条例の一部改正について)
	専決処分につき承認を求めることについて(小浜市都市計画税条例の一部改正について)
請願	手話言語法制定に関する請願
意見書	手話言語法制定を求める意見書
人事	固定資産評価審査委員会委員の選任について
	農業委員会委員の推薦について(高田一幸氏)
	農業委員会委員の推薦について(橋詰忠和氏)
	農業委員会委員の推薦について(赤尾裕子氏)



【採決表示ボタン】

ホームページ を見よう!

小浜市議会のホームページには、採決結果や次回定例会の日程、本会議の動画配信(約2週間程度で視聴できます)などさまざまな情報が掲載されています。



賛否が分かれた議案等

項目	件名	採決結果	議員														賛成	反対				
			藤田靖人	西本清司	小澤長純	今井伸治	能登恵子	松崎圭一郎	池田英之	下中雅之	三木尚	垣本正直	藤田善平	風呂繁昭	富永芳夫	清水正信			池尾正彦	宮崎治守	山本益弘	
予算	平成26年度小浜市一般会計補正予算(第2号)	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0
条例	小浜市市税条例の一部改正について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0
	小浜市道路占用料徴収条例の一部改正について	全	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0
陳情	T P P 交渉並びに米政策に関する要請	否	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	5	11	
	「日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書」提出に関する陳情	全	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	0
意見書	日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書	全	○	欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	0
	北陸新幹線若狭ルート整備促進を求める意見書	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0
人事	農業委員会委員の推薦について(池尾正彦氏)	多	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1

全=賛成全員(可決・採択) 多=賛成多数(可決・採択) 否=賛成少数(否決・不採択)
○=賛成 ×=反対 欠=出席せず 除=除斥(規定により採決に加われない)
※6月6日の採決は池尾正彦議員、6月27日の採決は垣本正直議員が議長のため採決には加わっておりません。

6月定例会の概要

平成26年第2回定例会は6月6日から6月27日までの22日間の会期で行われました。

◆今定例会では、各会計の補正予算案をはじめ、条例その他議案が提出され、慎重に審査しました。

◆また、定例会閉会日には、池尾正彦議員から議長職の辞職届が提出され、本会議で承認されました。その後に行われた議長選挙で、垣本正直議員が当選し、第45代議長に就任しました。

主な条例

◆小浜市市税条例の一部改正について

◆行政財産の使用料に関する条例の一部改正について

請願

◆手話言語法制定に関する請願

賛成全員で採択

陳情

◆T P P 交渉並びに米政策に関する要請

◆「日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書」提出に関する陳情

意見書

◆手話言語法制定を求める意見書

◆日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書



7月臨時会の概要

平成26年第3回臨時会が7月10日に行われました。

◆臨時会では、一般会計の補正予算案の審査と、農業委員会委員の任期満了に伴い農業委員の推薦を行いました。

人事案件

◆固定資産評価審査委員会委員の選任について(高鳥 佐太一氏・太良庄 賛成全員で同意)

推薦された委員

- 高田 一幸氏(再) 山王前二丁目
- 橋詰 忠和氏(新) 遠敷三丁目
- 赤尾 裕子氏(新) 木崎
- 池尾 正彦氏(新) 遠敷二丁目

【可決した平成26年度補正予算】

会計名	既決予算額	6月補正額	7月補正額	合計
一般会計	147億7,800万円	5億3,784万円	1,000万円	153億2,584万円
企業会計	8億7,158万円	800万円		8億7,958万円

新議長の紹介



第45代
小浜市議会 議長
垣本 正直 議員
(63歳・新保)

議長就任のあいさつ

このたび第45代小浜市議会議長に就任いたしました垣本でございます。
平成25年4月より小浜市議会基本条例を施行し、開かれた議会を目指して議員一同議会活動に取り組んでおります。その努力が認められ、ある調査会社によるアンケートにおいて、小浜市が全国市区議会の「議会改革度」ランキングで全国813市区の中で31位となりました。
小浜市は今年7月20日に舞鶴若狭自動車道が全線開通を迎え、2015年にはミラノ国際博覧会への出展が決定するなど、大きな転換期を迎えております。これからは北陸新幹線若狭ルート早期実現を目指し、市民の皆様のお力添えをいただきながら今まで以上に真摯に取り組んでまいります。
議会報告会などでお聞かせいただく様々なご意見・ご要望を大切に、微力ながら力を尽くす所存でございますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

市政を問う！一般質問

6月定例会では、12人の議員が18日・19日に市政各般にわたり一般質問を行いました。(一般質問の原稿は発言議員自らが作成しています。)

ページ	氏名	質問項目	ページ	氏名	質問項目
7	風呂 繁昭	・人口減少問題について ・産業振興について	9	能登 恵子	・アプリを使って市民協働を ・「生活困窮者自立支援法」から設置運営について ・外国語表示を進めて!
7	西本 清司	・今後の市農業の方向性について ・空き家対策について	10	小澤 長純	・若者の定住促進について ・在宅医療の推進について ・実効性ある避難計画の策定について
8	清水 正信	・少子高齢化人口減少時代の安全安心のまちづくり	10	宮崎治宇蔵	・大飯原発運転差し止め判決について ・避難計画の策定について ・子ども医療費の窓口無料化について ・中長期の観光ビジョンについて ・小浜市木材利用基本方針について
8	藤田 靖人	・旧小浜小学校跡地について ・広域斎場について ・耕作放棄地と空き家について	10	下中 雅之	・地域包括ケアにおける取り組みを考える ・公民館を核とした協働のまちづくりについて
8	池田 英之	・人口減少と関西圏との交流について ・市内の景気状況について	11	垣本 正直	・小学校統合再編と東部小学校の開設について ・新幹線「若狭ルート」早期実現の取り組みについて
9	藤田 善平	・風水害対策を問う ・農業振興策を問う ・空き家対策を問う	11	松崎圭一郎	・平成27年度介護保険法の改正について ・「拉致問題」再調査の行方について

委員会審査

予算決算常任委員会 (6月補正)

体験民宿交流促進事業 150万円

【問】シーカヤック体験には専門知識者が必要と思われるがどのように対応するのか。

【答】現在7艇導入しており、今回30艇を追加する。現在の体制を拡大すれば運営や指導は可能。



観光施設維持管理経費等 74万7000円

【問】観光トイレ新設は今年の夏に間に合わないが当初予算に計上できなかったのか。

【答】既存トイレの横に

女子用トイレ4基を新設する計画。補助金収入を充てる見込みであったが不可能であることが分かったため補正予算で計上することになった。

食のまちづくり推進費

2015年ミラノ国際博覧会出店関連事業 593万8000円

【問】小浜市が出展することによりどのような経済効果が見込まれるか。

【答】国際博覧会には世界中から多くの人が集まるので、全世界への宣伝

2015年夏、
「キッズ・キッチン」
「若狭塗箸」
ミラノ万博出展。
小浜から世界へ



効果は計り知れない。小浜の魅力を発信する絶好のチャンスと考えており、箸などの産業等が世界との交流につながるよう、最大限の効果が出るような取り組みをしていく。

【問】北陸新幹線若狭ルート実現と琵琶湖若狭湾快速鉄道実現について、どちらかに絞って運動する必要があるのではないか。

【答】どちらも大切なプロジェクトで、今は北陸新幹線若狭ルートの実現に一生懸命取り組み、快速鉄道についても肅々と運動していくという位置づけで取り組んでいきたい。

総務民生常任委員会

◆議案第38号 小浜市市税条例の一部改正について

【説明】地方税法の一部を改正する法律等が平成26年3月31日に公布されたことに伴い、主に地方法人税の偏在是正のための措置を講じようとするもの。

【問】年間に10日程度しか使用しない農耕作業用の車に対し、大幅な税額の引き上げはいかがなものか。



産業教育常任委員会

◆陳情第5号 TPP交渉並びに米政策に関する要請について(継続審査)

【意見】農家に直結する内容であり救済を願う意味で要請するべき。

【意見】一方、陳情を提出されている団体等においても大改革を望まれている時期で、もっと大きな視点で考えるべきである。



◆請願第1号 手話言語法制定に関する請願について

【説明】手話言語法(仮称)の制定を政府と国会に強く要望する意見書の提出を求めるもの。



風呂 繁昭 議員

【問①】人口減少問題と産業振興について、全国自治体の半数が2050年には消滅する可能性があるとして日本創成会議で「衝撃的な試算」を発表した。小浜市の人口は2040年には23,000人と推定されている。人口減少を食い止める為に、若者が安心して結婚できる環境整備、子供を産み、育てやすい環境が必要不可欠である。若者就労支援、安住促進、教育や財政問題について全庁的な取り組みが必要で、出生率を向上させる為に何かが必要か？小浜市の活力を維持する為には人口減少を食い止める必要があるからです。対策が遅れたならば社会、経済が立ち行かなくなる。対策を伺う。

小浜の人口は2040年に2万3千人？

【答】小浜市を持続可能なまちにしていく為に重要な課題である、人口減少問題検討ワーキンググループを立ち上げ情報収集や整理、分析、具体的な施策の検討に取り組んでいく。婚活について7月19日20日に中京圏の女性をターゲットにしたイベントを企画。新婚家庭への支援は両親等と同居されている場合のリフォーム助成をしている。医療費は15歳まで助成している。子育て支援等の必要な情報配信は調査研究する。教育については児童数の減少が現実となりつつある中、情報収集し将来像の再検討を段取りしている。家庭観、結婚観を指導教育していく事が必要である。小中一貫校も視野に入れ検討する。中小企業振興基本条例の制定については、先進自治体の事例も参考にし、調査、研究してまいります。



西本 清司 議員

【問①】今後の市農業の方向性について、現在、国の農業政策は大きな転換期にあり、今後の方向性をどう考えるのか、当市の農業環境等に対する対策はとれるのか。中山間地など、耕作条件不利な地域はどうなるのか。

農業の将来は！？増える空き家対策は？

【問②】空き家対策について、平成24年6月議会的一般質問にて取り上げたが、以後2年経過し、その後は当時より問題は拡大し深刻化しているのではないかと感じる。県内多くの市町が対策として『空き家等適正管理条例』等を制定・施行しているが当市の実態と、その対策等について問う。

【答】相談件数は、平成24年までの3年間で1件だったものが以降この2年間で8件と増加しており、今後この増加傾向が予測される。対策のための実情・実態把握は現在完全なものでは無く、今年度に不動産業界や地域の区長さんなどの協力をお願いし、空き家の実態調査や、売却、賃貸希望など所有者の意識調査を実施し、今後の対策強化に役立てたいと考えている。

一般質問

【問①】人口は経済や社会の活力の源。今人口減少が加速している。人口減少に適切に対応しなければまちは確実に衰退し、その一方で人口減少に適切に対応していけば、まちの住み良さを向上させることが出来る。施設やインフラを造る時代から総量を抑える時代を迎えた。公共施設を総合的、計画的に管理運営していくことが重要。

【答】早急に公共施設等の全体を長期的な視点で統廃合、更新、長寿命化、さらに自治体間の役割分担、連携、広域化等計画的に行う。

【問②】市立、県立の図書館はこの状況を維持出来るのか、地域に必要なものは「ハコモノ」ではなくその施設が持つ機能、県との連携も

【問①】昨年9月の台風18号による記録的豪雨により、北川では氾濫危険水位を上回る水位まで増水するなど各地で甚大な被害が出た。特に北川、南川河川の堤防の強靱化と、常に被害を受ける地域の抜本的解決策を問う。

【答】災害の未然防止に向けた堤防の強化と常に浸水が考えられる地域については、区や同盟会と協議を進め県と協力し早期の対策が図れるよう努力する。

【問②】農地中間管理機構と農業委員会のかかり方を問う。

【答】農地として利用する事が困難な土地や借り受け希望者が見込めない土地は中間管理機構も引き受けないと聞いており、農業委員は地域と密接に活動されて

早急に河川の浚渫と堤防の強靱化対策を！

【問③】米の直接支払交付金が本年度より半額となり、平成30年度から廃止されるが今後の対策を問う。

【答】転作助成である水田活用の直接支払交付金や、多面的機能支払交付金及び農地中間管理機構予算などに配分されていると考えており、営農座談会や農家組合長会議などあらゆる機会をとらえて周知を図る。

【問④】空き家が増加し外壁などが散乱して通行に危険が及んでおり対策を問う。

【答】多額の解体除去費や跡地の税制上の問題その他課題も多く、条例など国の「空家等対策の推進に関する特別措置法」の動向を見極め方針を決めたい。

【問①】スマートフォンのアプリを活用し、市民から写真付きレポート等を投稿してもらい、まちの課題解決に向けた「市民と行政との協働の可能性や仕組み作り」を提案。

【答】アプリを活用し市民と行政が情報を共有し地域の課題解決に取り組むことは大変有効。昨年12月に庁内で「情報化戦略WG」が出来た。この中で研究していきたい。



発見合不具 見
スマホで投稿

【問②】第二のセーフ

【問①】旧小浜小学校跡地について、今後の整備計画と取り組みなどを伺う。

【答】今年度に敷地測量調査を実施した後、史跡追加申請事務に入り、整備に向けた検討や発掘調査等を行う予定。本格的な整備着手までに保存管理計画、整備計画の策定、設計、許認可事務等に10年弱を要するため、現在の景観も町並みに合うよう現状を改善し、当時からイメージできるような土塁等の一部築造や史跡図看板の設置など、地元の見聞を聞きながら検討していく。

【問②】小浜地区中西部地域の観光まちづくり計画との整合性について伺う。

【答】旧小浜小学校跡地は、小浜中西部地域の

アプリを使っての市民協働を！

【問①】スマートフォンのアプリを活用し、市民から写真付きレポート等を投稿してもらい、まちの課題解決に向けた「市民と行政との協働の可能性や仕組み作り」を提案。

【答】アプリを活用し市民と行政が情報を共有し地域の課題解決に取り組むことは大変有効。昨年12月に庁内で「情報化戦略WG」が出来た。この中で研究していきたい。

【問②】スマートフォンのアプリを活用し、市民から写真付きレポート等を投稿してもらい、まちの課題解決に向けた「市民と行政との協働の可能性や仕組み作り」を提案。

【答】将来を担う子どもたちには、貧困の連鎖に陥ることの無いよう健全な成長のため各関係機関と連携をとり支援していきたい。

【問③】インバウンド観光事業を推進する観光庁訪日外国人へのアンケートから「日本食を食べる」ことに全ての国が一致して一番大きな関心と期待をしていることが分かる。来年「ミナソノ食の博覧会」へ出展の視点が有るなら、食のまちならではの「外国語表示」を求める。

【答】外国人観光客誘致は重要で、今後外国語表記のパンフレットをHPへ掲載し、HPの充実に取り組み。飲食店などからの要望に、翻訳等について協力していきたい。

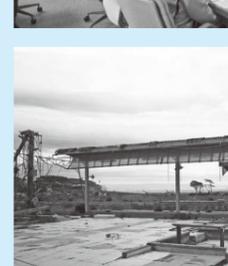


原子力発電所安全対策特別委員会 管外視察報告

原子力発電所安全対策特別委員会 管外視察報告

原子力発電所安全対策特別委員会 管外視察報告

原子力発電所安全対策特別委員会 管外視察報告



原子力発電所安全対策特別委員会 管外視察報告

原子力発電所安全対策特別委員会 管外視察報告

原子力発電所安全対策特別委員会 管外視察報告

原子力発電所安全対策特別委員会 管外視察報告



清水 正信 議員

人口減少時代の安全安心のまちづくり

【意見】交流人口の増加策、企業誘致、雇用増加策等を質問したのち、急変する社会、問題を先取りするのが政治の仕事。時代の変化に対応できたものが生き残れる。将来を展望明確なビジョンを共有し地域経営の効率化に必要な覚悟を共有し、コンパクトなまちづくりを基本に教育、福祉、雇用、産業、防災など機能を高め、持続可能な安全で安心なまちづくりが重要。

【意見】交流人口の増加策、企業誘致、雇用増加策等を質問したのち、急変する社会、問題を先取りするのが政治の仕事。時代の変化に対応できたものが生き残れる。将来を展望明確なビジョンを共有し地域経営の効率化に必要な覚悟を共有し、コンパクトなまちづくりを基本に教育、福祉、雇用、産業、防災など機能を高め、持続可能な安全で安心なまちづくりが重要。

【意見】交流人口の増加策、企業誘致、雇用増加策等を質問したのち、急変する社会、問題を先取りするのが政治の仕事。時代の変化に対応できたものが生き残れる。将来を展望明確なビジョンを共有し地域経営の効率化に必要な覚悟を共有し、コンパクトなまちづくりを基本に教育、福祉、雇用、産業、防災など機能を高め、持続可能な安全で安心なまちづくりが重要。

【意見】交流人口の増加策、企業誘致、雇用増加策等を質問したのち、急変する社会、問題を先取りするのが政治の仕事。時代の変化に対応できたものが生き残れる。将来を展望明確なビジョンを共有し地域経営の効率化に必要な覚悟を共有し、コンパクトなまちづくりを基本に教育、福祉、雇用、産業、防災など機能を高め、持続可能な安全で安心なまちづくりが重要。

【意見】交流人口の増加策、企業誘致、雇用増加策等を質問したのち、急変する社会、問題を先取りするのが政治の仕事。時代の変化に対応できたものが生き残れる。将来を展望明確なビジョンを共有し地域経営の効率化に必要な覚悟を共有し、コンパクトなまちづくりを基本に教育、福祉、雇用、産業、防災など機能を高め、持続可能な安全で安心なまちづくりが重要。

【意見】交流人口の増加策、企業誘致、雇用増加策等を質問したのち、急変する社会、問題を先取りするのが政治の仕事。時代の変化に対応できたものが生き残れる。将来を展望明確なビジョンを共有し地域経営の効率化に必要な覚悟を共有し、コンパクトなまちづくりを基本に教育、福祉、雇用、産業、防災など機能を高め、持続可能な安全で安心なまちづくりが重要。



清水 正信 議員

地域住民と一体となった「まちづくり」を！

【問①】旧小浜小学校跡地について、今後の整備計画と取り組みなどを伺う。

【答】今年度に敷地測量調査を実施した後、史跡追加申請事務に入り、整備に向けた検討や発掘調査等を行う予定。本格的な整備着手までに保存管理計画、整備計画の策定、設計、許認可事務等に10年弱を要するため、現在の景観も町並みに合うよう現状を改善し、当時からイメージできるような土塁等の一部築造や史跡図看板の設置など、地元の見聞を聞きながら検討していく。

【問②】小浜地区中西部地域の観光まちづくり計画との整合性について伺う。

【答】旧小浜小学校跡地は、小浜中西部地域の

【問③】米の直接支払交付金が本年度より半額となり、平成30年度から廃止されるが今後の対策を問う。

【答】転作助成である水田活用の直接支払交付金や、多面的機能支払交付金及び農地中間管理機構予算などに配分されていると考えており、営農座談会や農家組合長会議などあらゆる機会をとらえて周知を図る。



池田 英之 議員

関西圏との交流で人口減少に歯止めを！

【問①】人口減少の問題において、大都市圏への人の流れを変える事が必要である。若者のインターンやセカンドハウス化等、関西圏からの流入人口を増やすための方策は。

【答】本市への来訪者は約4割が京阪神方面からである。地理的優位性を生かし、リピーターを増やし、小浜のファンづくりをする中で関西圏からの移住者を増やしたいと考える。

【問②】人口減少が進む中で、グランドデザインをどのように描いているのか。

【答】新幹線の整備は、人口減少に歯止めをかける最も効果的な対策の一つである。更に、全線開通する舞鶴若狭自動車道の活用により交流人口の拡大をはかり、人

【問③】消費増税後の市内企業の景況状況は。

【答】福井県商工会議所連合会の5月の調査によると約6割が「普通」、約3割が「悪化」、かなり悪化、約1割が「好調」という回答で、当初の予測よりも影響は小さいという結果であった。

一般質問

【問①】人口減少が進む中、若者の定住なくして小浜の未来はない。雇用確保とともに子育て等若者への支援が最重点課題となるが、特に、近隣町と比べ保育料が非常に高い。減額はできないのか。

【答】質の高い保育サービスが一因であるが、県内の同規模の市と比べると同程度である。今後は、来年4月からスタートする「子ども・子育て支援新制度」の基準額により、保護者の所得に応じた保育料を設定する。

【問②】在宅医療が進まない現状では特養施設が必要で、多くの待機者があり、明らかに不足していると思うがどうか。また、小浜病院内に在宅診療科を設け、24時間対応の在宅支援



垣本 正直
議員

新幹線全線フル規格で大阪までの開業年度を明らかに

【問①】小学校統合に限り組む森下教育長の見解について伺う。

【答】単に少子化対策の統合再編でなく、質の高い教育を目指した取り組みを考えている。

【問②】(仮称) 東部地区小学校統合の現状と今後の取り組みを伺う。

【答】今年度は基本計画に基づいた施設の配置や建物の構造等を決定するための基本設計を進める。今後は、通学に関することや学校名称や校歌等のソフト面について新たな専門委員会を立ち上げ、検討を進める。

【問③】東部地区小学校建設予定地周辺の環境整備について伺う。

【答】平成31年4月開校に向け周辺道路や上下水道整備を進める。また周辺に資料館や若狭の里公園などの施設があり、



小澤 長純
議員

若者の定住に向け環境整備を進めよう！

【問①】人口減少が進む中、若者の定住なくして小浜の未来はない。雇用確保とともに子育て等若者への支援が最重点課題となるが、特に、近隣町と比べ保育料が非常に高い。減額はできないのか。

【答】質の高い保育サービスが一因であるが、県内の同規模の市と比べると同程度である。今後は、来年4月からスタートする「子ども・子育て支援新制度」の基準額により、保護者の所得に応じた保育料を設定する。

【問②】在宅医療が進まない現状では特養施設が必要で、多くの待機者があり、明らかに不足していると思うがどうか。また、小浜病院内に在宅診療科を設け、24時間対応の在宅支援

【問④】北陸新幹線が当初の計画通り若狭ルートで大阪まで繋がることは、地方都市の存続のため有効な手段。今後は、常に目に見える形で活動アピールが必要。具体的な取り組みを伺う。

【答】新幹線の整備効果に関する講演会等開催し皆様の理解を促進するとともに、啓発用チラシや市民の皆様から標語の募集、グッズ等検討する。

【問⑤】若狭ルートの優位性を明確にし、小浜市が先頭に立つ必要がある。まさに地域間の戦い。松崎市長の決意を伺う。

【市長】市民の皆様は、整備効果等について十分にご理解いただき、気運を盛り上げていきたい。県や沿線市町との連携を強め、国や関係機関に強力に働きかけ若狭ルートを勝ち取りたいと考えている。私が先頭に立ち全力で取り組んでいく。

【問①】人口減少が進む中、若者の定住なくして小浜の未来はない。雇用確保とともに子育て等若者への支援が最重点課題となるが、特に、近隣町と比べ保育料が非常に高い。減額はできないのか。

【答】質の高い保育サービスが一因であるが、県内の同規模の市と比べると同程度である。今後は、来年4月からスタートする「子ども・子育て支援新制度」の基準額により、保護者の所得に応じた保育料を設定する。

【問②】在宅医療が進まない現状では特養施設が必要で、多くの待機者があり、明らかに不足していると思うがどうか。また、小浜病院内に在宅診療科を設け、24時間対応の在宅支援

子ども医療費窓口無料化を！

【問①】大飯原発3・4号機運転差し止め判決について。

【答】規制委員会において審査中であり、今後の動向を注視したい。

【問②】避難計画の策定について。

【答】OIL4の設定値を超える数値が検出されない場合は、その車両の乗員も同様とみなすとしており、スクリーニングは行わない。当該車両に汚染が認められた場合は、乗員の代表者に汚染検査を行い、設定値を超える数値が検出されない場合は、その車両の乗員全員も同様とみなし、スクリーニングは行わない。県から示された実施方法。

【問③】子ども医療費の窓口無料化について。

【答】医療費の助成法

【問①】大飯原発3・4号機運転差し止め判決について。

【答】規制委員会において審査中であり、今後の動向を注視したい。

【問②】避難計画の策定について。

【答】OIL4の設定値を超える数値が検出されない場合は、その車両の乗員も同様とみなすとしており、スクリーニングは行わない。当該車両に汚染が認められた場合は、乗員の代表者に汚染検査を行い、設定値を超える数値が検出されない場合は、その車両の乗員全員も同様とみなし、スクリーニングは行わない。県から示された実施方法。

【問③】子ども医療費の窓口無料化について。

【答】医療費の助成法



宮崎治宇蔵
議員

【問①】大飯原発3・4号機運転差し止め判決について。

【答】規制委員会において審査中であり、今後の動向を注視したい。

【問②】避難計画の策定について。

【答】OIL4の設定値を超える数値が検出されない場合は、その車両の乗員も同様とみなすとしており、スクリーニングは行わない。当該車両に汚染が認められた場合は、乗員の代表者に汚染検査を行い、設定値を超える数値が検出されない場合は、その車両の乗員全員も同様とみなし、スクリーニングは行わない。県から示された実施方法。

【問③】子ども医療費の窓口無料化について。

【答】医療費の助成法

介護事業の適切な運用方法は如何に！

【問①】介護保険の権限が、市町村へ段階的に委譲されると聞か、今後どのようになるのか。

【答】平成28年度から、月平均利用延べ人員300人以下の小規模通所介護事務所のサービスが、地域密着型サービスへ移行、また、平成30年度から、ケアマネジャーが所属する居宅介護支援事業所の指定権限も同じく委譲される。

【問②】改正後の市民への影響は、どのようになるのか。

【答】市町村民税非課税世帯で、年金収入が120万円程度の低所得者の第1号介護保険料が軽減される。また、介護サービスを利用し

【問③】介護保険料を納めているからと言って、健康保持を怠る人、また、要介護になったお年寄りを施設へ預けたままの家族等、一見恵まれた社会の様には思えないが、共生・共存社会に於いて、其れは許される事なのか、少しでも介護保険にお世話になる事が無い様になる方策はあるのか。

【答】介護に繋がりが易い運動器症候群予防へのプログラムを介護予防事業に取り入れて発症を抑えている。

【問④】「拉致問題」の行方について

【問⑤】新たな拉致啓発活動はいかがか。

【答】拉致問題を風化させない為に、小・中学生用に特定失踪者問題の紙芝居を作成する事により啓発を図る。



松崎圭一郎
議員



【問①】2025年における小浜市の総人口の推計は、27,534人で高齢化率は33.5%位になると伺う。そこで、地域包括ケアシステムの構築に向けての取り組みが急務であると思われるが、自治体に求められる機能をどのように考えているのか。

【答】それぞれの地域の特性にあった地域包括ケアシステムを構築するためには、各地域の特性や課題を把握する必要があり。そして、それらの特性や課題をもとに、「地域包括ケアシステム」の構築に向けた基本方針を立て、市のまちづくりや地域づくりなどの諸計画と整合性のある施策を、市民および事業者と意識を共有しながら実施していくことが必要である。

【問②】本市において、地域包括ケア推進室の設置も考えられるが、所見を伺う。

【答】今後、地域包括支援センターを充実させていく中で、地域包括ケア推進室についても検討していきたい。

【問③】公民館を拠点とする協働のまちづくりを進めようとするなかで、新組織(仮称)地区まちづくり協議会に対する考えを伺う。

【答】地区まちづくり協議会では、各種団体で構成する協議会形式を採用することにより、多くの地域住民の参画が得られ、地域が一体となって課題解決に取り組みすることが可能となる。各種団体がかかわることで、よりよいアイデアが生まれ、それぞれの地域において、特色ある地域づくりが生かしていくことが期待できると考えている。

【問①】2025年における小浜市の総人口の推計は、27,534人で高齢化率は33.5%位になると伺う。そこで、地域包括ケアシステムの構築に向けての取り組みが急務であると思われるが、自治体に求められる機能をどのように考えているのか。

【答】それぞれの地域の特性にあった地域包括ケアシステムを構築するためには、各地域の特性や課題を把握する必要があり。そして、それらの特性や課題をもとに、「地域包括ケアシステム」の構築に向けた基本方針を立て、市のまちづくりや地域づくりなどの諸計画と整合性のある施策を、市民および事業者と意識を共有しながら実施していくことが必要である。

【問②】本市において、地域包括ケア推進室の設置も考えられるが、所見を伺う。

【答】今後、地域包括支援センターを充実させていく中で、地域包括ケア推進室についても検討していきたい。

【問③】公民館を拠点とする協働のまちづくりを進めようとするなかで、新組織(仮称)地区まちづくり協議会に対する考えを伺う。

【答】地区まちづくり協議会では、各種団体で構成する協議会形式を採用することにより、多くの地域住民の参画が得られ、地域が一体となって課題解決に取り組みすることが可能となる。各種団体がかかわることで、よりよいアイデアが生まれ、それぞれの地域において、特色ある地域づくりが生かしていくことが期待できると考えている。

地域の特性を生かしたまちづくりを！

【問①】2025年における小浜市の総人口の推計は、27,534人で高齢化率は33.5%位になると伺う。そこで、地域包括ケアシステムの構築に向けての取り組みが急務であると思われるが、自治体に求められる機能をどのように考えているのか。

【答】それぞれの地域の特性にあった地域包括ケアシステムを構築するためには、各地域の特性や課題を把握する必要があり。そして、それらの特性や課題をもとに、「地域包括ケアシステム」の構築に向けた基本方針を立て、市のまちづくりや地域づくりなどの諸計画と整合性のある施策を、市民および事業者と意識を共有しながら実施していくことが必要である。

【問②】本市において、地域包括ケア推進室の設置も考えられるが、所見を伺う。

【答】今後、地域包括支援センターを充実させていく中で、地域包括ケア推進室についても検討していきたい。

【問③】公民館を拠点とする協働のまちづくりを進めようとするなかで、新組織(仮称)地区まちづくり協議会に対する考えを伺う。

【答】地区まちづくり協議会では、各種団体で構成する協議会形式を採用することにより、多くの地域住民の参画が得られ、地域が一体となって課題解決に取り組みすることが可能となる。各種団体がかかわることで、よりよいアイデアが生まれ、それぞれの地域において、特色ある地域づくりが生かしていくことが期待できると考えている。

【問①】2025年における小浜市の総人口の推計は、27,534人で高齢化率は33.5%位になると伺う。そこで、地域包括ケアシステムの構築に向けての取り組みが急務であると思われるが、自治体に求められる機能をどのように考えているのか。

【答】それぞれの地域の特性にあった地域包括ケアシステムを構築するためには、各地域の特性や課題を把握する必要があり。そして、それらの特性や課題をもとに、「地域包括ケアシステム」の構築に向けた基本方針を立て、市のまちづくりや地域づくりなどの諸計画と整合性のある施策を、市民および事業者と意識を共有しながら実施していくことが必要である。

【問②】本市において、地域包括ケア推進室の設置も考えられるが、所見を伺う。

【答】今後、地域包括支援センターを充実させていく中で、地域包括ケア推進室についても検討していきたい。

【問③】公民館を拠点とする協働のまちづくりを進めようとするなかで、新組織(仮称)地区まちづくり協議会に対する考えを伺う。

【答】地区まちづくり協議会では、各種団体で構成する協議会形式を採用することにより、多くの地域住民の参画が得られ、地域が一体となって課題解決に取り組みすることが可能となる。各種団体がかかわることで、よりよいアイデアが生まれ、それぞれの地域において、特色ある地域づくりが生かしていくことが期待できると考えている。



下中 雅之
議員

議会を傍聴しませんか？

議会を傍聴する手続きは、5階の議会事務局で住所と氏名を書くだけです。

—9月定例会の予定—

9月 1日 (月)	本会議
9月11日 (木)	一般質問
9月12日 (金)	一般質問
9月19日 (金)	本会議
10月 6日 (月)	本会議

今月の表紙

松永小学校

松永小学校は小浜市の東端に位置し、自然豊かな田園地帯にあります。学校花壇は児童と教職員、地域のみなさんが力を合わせてお世話をされ、毎年すばらしい賞にかがやいています。平成26年度春花壇では「総務大臣賞」を受賞されました。

議会を傍聴しませんか？

議会を傍聴する手続きは、5階の議会事務局で住所と氏名を書くだけです。

—9月定例会の予定—

9月 1日 (月)	本会議
9月11日 (木)	一般質問
9月12日 (金)	一般質問
9月19日 (金)	本会議
10月 6日 (月)	本会議